

男女共同参画委員会企画 第14回女性技術者ネットワーク開催報告

化学工学会男女共同参画委員会は女性技術者・研究者が情報ネットワーク作りを行う「女性技術者ネットワーク」という会合を、2012年から継続的に開催しております。第14回目の会合は9月19日（水）12:00～13:00に第50回秋季大会会場の鹿児島大学郡元キャンパスで行われました。講師には、住友ベークライト株式会社 R&D 企画推進部長兼先端材料研究所長 沖博美様、ならびに鹿児島大学水産学部准教授 加藤早苗様をお招き致しました。沖様からは、子育てとキャリア形成を両立され、現在マネジメントされている研究開発部門での「プラスチックが目指す顧客価値創造」として、車両関連に使用される軽量・高強度材料や樹脂と金属の複合化技術の開発、ヘルスケア用の消化器内視鏡製品等の研究事例をご紹介いただきました。加藤様からは、日本人女性初の水産学博士となられた直後の10年以上の介護と研究を両立するための医学へのキャリアシフト、その後、キャリアの再構築として医学と水産学に跨るテーマ「青い血の化学」に関する研究を開始された経歴についてご自身の幸福度を示すグラフと共にご紹介いただきました。なお、青い血をもつものは、軟体動物（タコやイカ）や節足動物（甲殻類）になります。また、各ご講演の後には、研究・事業内容や、企業内の女性活躍の状況等、多岐にわたる質疑応答が活発に行われました。

本会合は、学会会期中ということもあり、男女を問わず学会参加者に多数ご参加いただき、総数30名以上にて行われました。特に、女性参加者が7割以上であったことから、女性技術者・研究者のネットワーク作りへの要望が高いことが伺われました。

尚、次回は、来年度に化学工学会事務局（東京）にて開催致します。メルマガ等により開催内容をお知らせ致しますので、ぜひご参加願います。



加藤早苗様



沖博美様

(文責 男女共同参画委員会)